

平成 27 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

研究領域名	稲作と中国文明－総合稲作文明学の新構築－
領域代表者	中村 慎一 (金沢大学・歴史言語文化学系・教授)
研究期間	平成 27 年度～平成 31 年度
科学研究費補助金審査部会における所見	<p>本研究領域は、稲作と中国文明形成の關係に焦点を当て、考古学を中心に歴史学、文化遺産学、社会学、地理学、植物学、動物学、農学等の多様な学問分野からアプローチすることで、「総合稲作文明学」という新たな学術領域の創成に挑むものである。イネの栽培化プロセスの精緻な復元をもとに長江流域の文明の興亡史を再検討し、それによって中国文明の特性やレジリアンスを明らかにしようとする意欲的な提案であり、稲作文明ひいては文明一般の形成に関する新たな知見の獲得が期待される。領域推進の方策についても、これまでの経験と蓄積を踏まえて詳細かつ具体的に計画されている。</p> <p>一方で、本研究領域における文明論や、稲作と文明の相互關係の捉え方について明確にする必要がある。特に、テクニカルな年代測定や化学分析と、社会組織・世界観・生業技術などの社会文化的研究をいかに統合していくのか、研究計画にさらなる工夫が必要である。また、領域全体として各計画研究が有機的に連携し、個々の研究成果を新たな文明論の構築に着実に結び付けるためにも、総括班を中心とした精緻かつ実行可能性の高い領域マネジメント体制の確立が望まれる。研究成果については、日中間のみならず国際的な発信を工夫されたい。</p>